一般質問 町の考えを問う

5人の議員が登壇

９月定例会では５人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のＱＲコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

質問議員	質問事項	ページ
みずたに　くみこ 水谷　久美子	◎学校に作業療法士（室）を ◎自衛官募集の法的根拠は	9
いわなが　よしひと 岩永　義仁	◎避難所への防災井戸の整備は ◎県市町村の支出なしを受けて	10
おおはし　みちこ 大橋　みち子	◎美味しい学校給食の維持は ◎夢や希望をつなぐ養老鉄道は	11
はやざき　ゆりこ 早崎　百合子	◎自転車「青切符」導入後の課題は	8
さの　しんや 佐野　伸也	◎コミュニティ・スクールの今後は ◎特別支援学級の現状と体制は	12

学校に作業療法士（室）を

教育長 現時点では考えていない



◆水谷久美子（みずたにくみこ）　議員

作業療法士は、あらゆる場面で心や体、社会との関わりを支える専門職だ。障がいの有無に関わらず、発達の悩みに寄り添うセラピストである。

問　子どもの発達をサポートする作業療法士の採用見解は。

答　学校に作業療法的な視点を取り入れた支援は、大変重要と認識しているが、現時点では、考えていない。

問　乳幼児期・就園期・就学期・思春期における作業療法士との連携は。

答　公立認定こども園では、西美濃厚生病院の理学・作業療法士に、年2回こども園を巡回していただき、指導を受けている。
　そよかぜ教室では、必要に応じて作業・理学療法士、言語聴覚士と連携している。

問　思春期健診は、サイコとソーシャル面を含めた総合的な体制が求められるが。

答　小学5年生を対象に「ＳＯＳの出し方教育」を実施している。また、悩んだ時の「相談先連絡カード」を中学生と小学5年生全員に配布している。思春期健診は、近隣市町の動向に注視したい。



授業前に体幹を鍛えて　飛騨市HPより

自衛官募集の法的根拠は

町長 法定受託事務が根拠

本人が原告となり「自衛隊名簿提供違憲訴訟」の裁判が奈良と岐阜で行われている。本人の同意がない個人情報提供は、プライバシーの侵害である。

問　以前は、自衛隊員が名簿を閲覧していたが、現在の提供は。

答　令和3年から宛名シールで提供している。

問　転記項目・送付年齢と時期は。

答　本年から年2回となり、3月・6月末に自衛隊岐阜地方協力本部大垣事務所に送付している。

問　名簿提供する自衛隊法第97条や施行令第１２０条など見解は。

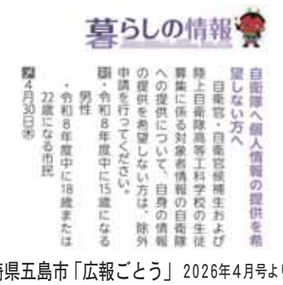
答　住民基本台帳法上、「特段の問題を生ずるものではない」「法的受託事務」などを根拠に実施している。

問　名簿から本人が除外申請できる周知があまりにも不適正である。改善を求める。

答　今後は、広報にも掲載し周知に努めたい。

問　「自衛官募集に係る対象情報の提供に関する協定書」を結ぶべきである。

答　協定に向け準備を進めたい。



長崎県五島市「広報ごとう」2026年4月号より抜粋

自転車「青切符」導入後の課題は

町長 道路事情を踏まえた啓発



◆早崎百合子（はやざきゆりこ）　議員

今年4月から青切符（反則金）制度が導入された。自転車による事故の未然防止や交通ルールを遵守する意識の醸成に役立つものである。

問　自治体や警察の連携・安全対策は。

答　「養老町通学路等交通安全プログラム」を策定し、学校関係者、町、養老警察署、養老地区交通安全協会、地域と連携し通学路の安全対策を進めている。

問　交通安全啓発は。

答　広報誌に交通法規の改正について掲載し、町民へ啓発している。また、防災無線では、年5回交通安全運動の啓発を行っている。

問　学校教育現場や高齢者向け講習での交通安全教育強化は。

答　小中学校では養老警察署による交通安全講習を行い、登下校時には養老地区交安協会と養老警察署が連携し、交通安全指導をしている。また、「高齢者大学校」を開催し、交通安全のリーダー育成に努めている。

問　自転車のヘルメット着用の努力義務化を踏まえ、購入補助制度についての考えは。

答　ヘルメット購入に関する補助制度については、今後関係者で議論していく。



警察庁・都道府県警察チラシ